

ネオシールド保冷性能テスト①

平成26年1月22日

株式会社 吉良紙工
ロジスティクスサポート事業部

1. 試験要領

試験日： 2014年1月12日(日)

試験場所： 株式会社吉良紙工 三重工場 恒温室

計測時間： 25時間

環境温度： 25℃

検 体： 水道水 140ml

冷 媒： 蓄冷剤(0℃用) 500g×1枚
蓄熱剤(+5℃用) 250g×2枚

センサー： 環境温度・検体温度・庫内温度

保冷容器： ネオシールド ボックスタイプ
250×140×230内寸 30mm厚

2. 測定方法

別紙テスト手順を参照願います。

3. テスト結果

別紙グラフを参照願います。

以上

テスト手順



弊社三重工場恒温室にてテスト実施



温度測定器材(データロガー)
おんどとりjr



保冷ボックス(K-100) 8リットルタイプ
サイズ 250 * 140 * 230内寸
断熱材 30mm厚

保冷ボックスを恒温室で25°Cに加温する

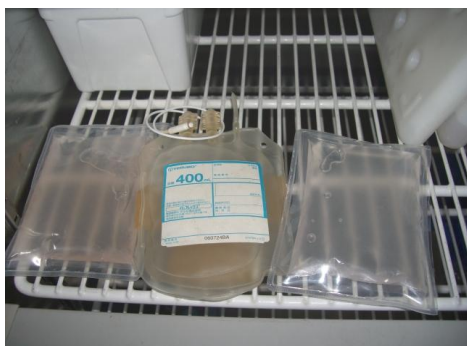


蓄冷剤(500g) × 1枚
※蓄冷剤0°Cグレードを使用

蓄冷剤を-25°Cの冷凍庫で凍結させる



蓄冷剤を天面ネットにセットする



検体(水道水140ml)と蓄熱剤(250g) × 2枚
※蓄熱剤+5°Cグレードを使用

冷蔵庫にて5°Cに予冷する



蓄熱剤(250g)1枚を底面に敷き、
その上に検体を乗せる

ボックス内温度(中段)及び
検体におんどとりをセットする



検体の上に蓄熱剤(250g)1枚を乗せる
※蓄熱剤で検体をサンドイッチにする



蓋を閉めテストスタート

環境温度25°C設定

保冷性能テスト① (環境温度25℃ 蓄冷剤500g 蓄熱剤500g)

